



[男女共同参画社会の実現をめざす情報誌]

特集

男女共同参画特別企画

OKAYAMA

2013.1

vol. 38

わたしたちの イキイキ24時間

~自分らしく働くということ~

さんかくウイーク2012

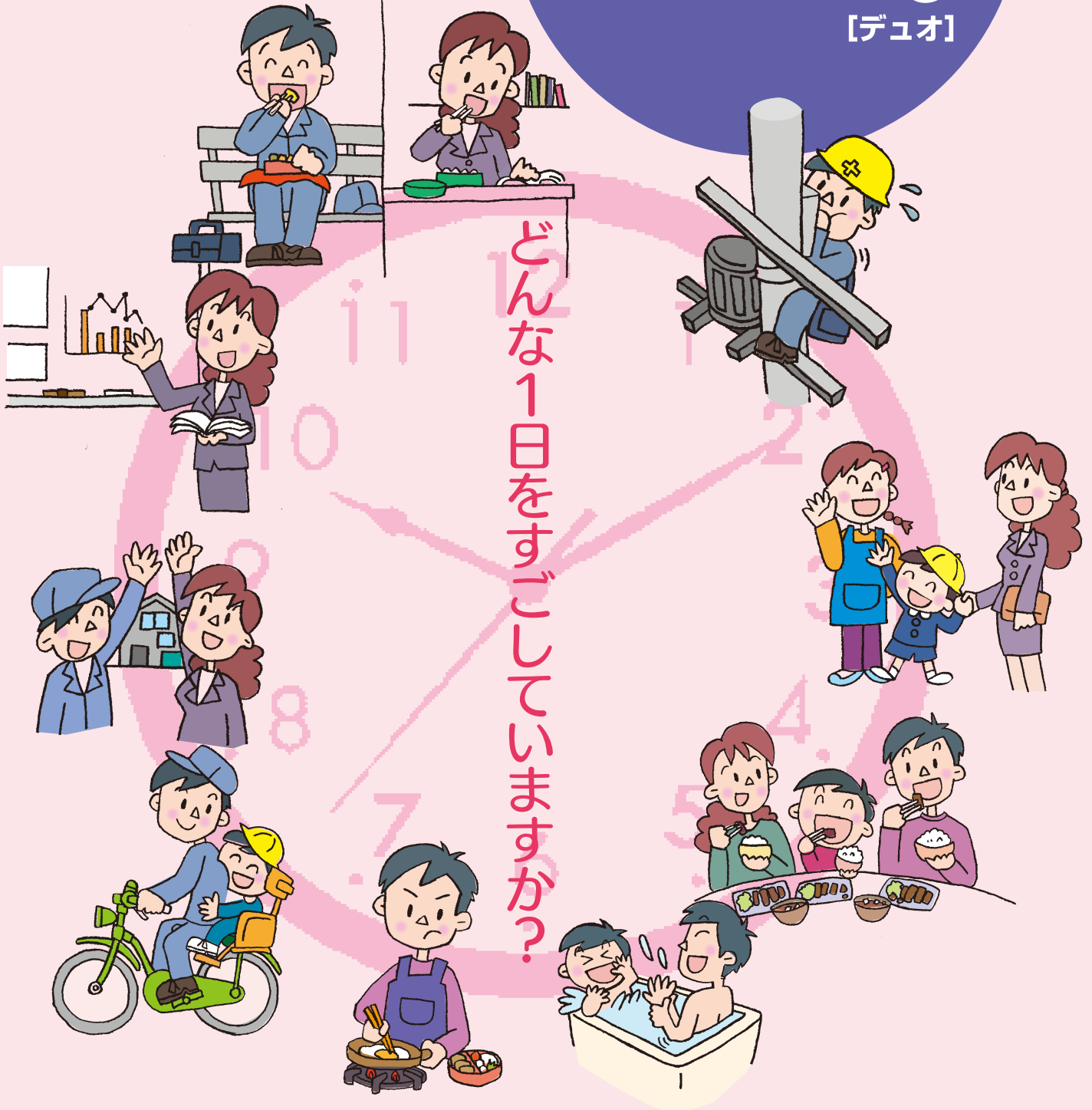
「さんかく岡山」へ行ってみよう!

第3次さんかくプラン

DUO

[デュオ]

どんな1日をすごしていますか？



岡山市

わたしたちの イキイキ24時間

～自分らしく働くということ～

「仕事と家庭の両立って大変…」そんな風に思っていないですか？
女性は家庭、男性は仕事、そんなふうに、性別で役割分担がされてきた時代もありました。今の日本では高齢化、出生率の低下傾向による人口減少などにより社会が大きな変化を迎えている中で、女性も男性も仕事と家庭の両立が課題となっています。そこで、今号では、仕事でも活躍されている3名の女性と、シングルファーザーを招き、編集委員と座談会を行いました。

座談会 Round-table talk



今城 真奈美さん (40代)

株式会社
アイビーシステムズ勤務
●企業IT経営戦略の
コンサルティング
●システムエンジニア
●システムの開発
●導入時のコンサルティング
独身 母と同居



～適職にめぐりあって～

小学校の教師を退職後、事務職で採用面接を受けにいった会社で、たまたま「SE(システムエンジニア)をやってみませんか?」とお誘い。「男性職場」のSEの仕事、知識もないところから始めてみたらとても向いていた。プログラムを作る仕事から始め、続いて鉄工所、軽筒工場、運送会社などに活躍の場を広げ、業務分析から、システムの設計・プログラムを組んで説明をし、導入するという仕事へ。様々な業種の業務に携わるのは、新たな勉強も要求され、時間的な大変さもあつたものの、会社のみが知らぬ間に学べるおもしろさは格別。10年ほど前に「電子カルテ」のプロジェクトに入り、以降は主に医療系のシステム開発をしながら傍らで一般企業のIT経営コンサルティングをこなす。

川上 陽子さん (50代)

Y's オフィスカワカミ
社会保険労務士事務所
代表
●企業研修の講師等
夫、夫の母と同居、
ひとり娘は別居



～自分の気持ちに正直に～

家庭の事情で、地元の職場を選ぼうと中学校の英語教師として働いたものの、ずっと抱いていた夢を実現させるべく結婚を機に退職。念願のマスコミの仕事を始め、仕事に情熱をそそぐ中、子どもができて「本当に可愛い!」、子育てに気持ちがシフトし専業主婦に。幼稚園のPTA副会長をし、才能溢れる多くの親とふれあう中でビジネス魂が再燃。自分は家を整える仕事よりも、外に出て仕事をしたいと再認識。娘の小学校入学後にラジオの仕事再開し、家庭との両立に奮闘。現在、娘が県外に出たのを機に、一念発起し、社会保険労務士の資格をとり開業。講師業を中心に仕事にうちこむ日々。

木山 祐子さん (30代)

株式会社CDG勤務
●企業のセールスプロ
モーションオリジナル
ノベルティグッズの
企画立案・製作
夫、2人の子とも同居



～「ママ営業」のよきモデルに～

大学卒業後、事務職についてものの、入力作業が中心の仕事は性格的に合わず、再度、就職活動。ぬいぐるみ、ストラップ、ボックスティッシュなど色んなグッズが溢れる現在の会社は、雑貨好きの自分にぴったり。しかし、結婚、出産を機に子育てに専念するため、いったん退職し4年間専業主婦に。「もう一回戻ってきませんか?」との話に、こんなチャンスは二度とないと同職場へ復帰し「ママ営業第一号」となる。母と夫のサポートと職場の理解に感謝しつつ、これからも仕事と家庭、両方で結果を出すための実現方法を模索中。

濱野 幸雄さん (40代)

濱野設備代表
●一般電気工事
●オール電化
●太陽光発電設備
●電気自動車充電設備
独身
3人の子とも同居



～自分にしかできない仕事を～

人に使われて仕事をするより自分で何かをしたいと、高専で中退して小さい仕事から1人で始め、25年間、電気工事業を営む。仕事の浮き沈みが激しい業界ゆえ、新しい分野の仕事を積極的に開拓したり、独占的にできる分野がないかを探したり、自分にしかできない仕事を見つけるために特殊な資格を取ったりと、常に新しいことに挑戦。日々勉強。「キャリアも頭もないから」と謙遜するが、この腕一本で頑張ってきたという自信にみちあふれる。仕事も家事もいつてもがむしゃら。頼れるシングルファーザー。

うまくいった時の達成感が何物にもかえがたい。

編集委員: みなさんはお仕事を持って頑張っていると思いますが、やりがいや、仕事をしていて良かったと思ったことはどんなことでしょうか。

今城 SE(システムエンジニア)は本当にいろんな仕事があって、夜中に600台ぐらいのパソコンのメモリーボードを翌日までに交換しろ!なんて夜間作業が入ったり、システムを作るのも夜寝ずの作業が続いたり結構ハードで。そんな中、半年掛かりで作ったシステムを稼働する前日のドキドキ感や、うまくいったときの達成感…これが何ものにも代え難いというか、このために仕事をしているという感じですね。

木山 営業でいろんな業種のお客様とお話をすると、すごく勉強になって楽しいんですよ。専業主婦時代に幼稚園のお母さん方とお話をするのももちろん楽しかったのですが、仕事をする中で、さらに幅広い人との関わりができて、より充実する感じがします。

川上 企業研修が終わって、参加者から「元気が出た」とか「やってみようかな」と言っていた時に、すごくやりがいを感じて、やっていた良かったと思います。口コミで県外からもお声をかけていただけたようになりましたが、行ったことの無い土地に行かせていただく時も、すごく楽しいですね。

濱野 新しいものが出てくる時にメーカーさんからの情報が一足先に入って、ちょっと得した気分になります。基本的に電気工事の仕事自体が趣味みたいな感じで好き

ですけれど。

編集委員: 逆に、困難だったこと、つらかったことなどはありますか?

今城 やはりトラブル対応ですね。コンピュータを導入するというのは、そこに携わる人たちの間に意外な採め事などを引き起こすこともあって、その調整するのに苦労しています。でも、さっきの話になりますけど、困難なことが達成感につながるんですよ。

木山 復帰当初、娘が毎日涙目で。やっぱり仕事したのは間違えたかな、と悩み、つらかったですね。でも、今では私が仕事を好きでやっているというところを理解してくれているみたいで、良かったなっています。

濱野 家庭との両立ですね。一番下の中2の子どもが小3の時から、いわゆる「シングルファーザー」をやっていますが、不規則な仕事ですから、23時頃に子どもを置いて現場に向かわなければならないこともあって…。一通りの家事も必要に迫られて、一人でどうにかこうにか頑張ってきました。

編集委員: 仕事も家事も一人で全部というのは大変なことですね。

濱野 誰にも頼れなかったのが、もうやるしかないという感じで。仕事は肉体的にもけっこうキツイのですが、子どもの時やっていた剣道の厳しい練習で根性が身につけていて「あれに比べたら…」って乗り切れているのかも。基本的に体を動かすのは好きです。また、家事については長年やっているもので、今はもう習慣になってあまり苦

痛ではないです。

編集委員: たまには弱音をはいてもいいと思いますよ。

濱野 子どもに手伝ってもらえたらなあ、と思うことはありますね。

川上 私もフリーで不規則な仕事をしていましたので、子どもが小さい頃は家庭との両立はとても大変でした。帰りが遅くなる時には、朝、夕飯の支度まで全てを整えてから仕事に行く。帰ってへとへとになってまた仕事に行く。なんか、仕事したいからやっていると、なんでこんなにしんどいんだろう?と思うような日々でしたね。でも、いつか、そういう日も終わりがきますよ。私は、娘が県外に出るといって、これを機に自分の働き方などを見直してみようと思って社会保険労務士の仕事を始めたんです。

編集委員: みなさんは、ストレス発散方法を何かお持ちですか?

木山 大好きなアーティストのコンサートにでかけたり、家族で旅行へ行くことです。

濱野 何とかプラスに考えるようにしていて、基本的にあまりストレスを感じていないですね。映画を観たり、バイクで高速道路を走るくらいですね。

今城 ものづくりをしていると、ものが完成した時に全てのストレスが吹き飛ぶので、仕事で解消できているかな。あと、中国語を習っていて、中国人の方と「話が通じた!」など小さな達成感でも解消できますね。

川上 一人で過ごす時間を作ることでいいですね。旅行が大好きなんですけど、開業していたらなかなか長いお休みを取ることが

出来ないで、県外のお仕事をいただいた時なんか、仕事の後で「あの美術館に行こう」とか「あのカフェに入ろう」とか、必ず一人の時間を楽しむようにしていますね。

編集委員: それぞれに工夫してストレスを発散することで、つらいことや困難を乗り越えたり、楽しみに変えていらっしゃるんですね。ところで、みなさんは職場で男女差を感じられた事がありますか?例えば、仕事の内容とか、昇給、昇格などの待遇面で。

川上 私が大学を卒業した時は、男女雇用機会均等法もなかったのが、給料や昇進のルールには明らかに男女差がありました。ただ、私が選んだ中学校の英語教師は当時から男女差はなく、多くの女性の先生が活躍されていた職場でもあり、男女差を感じた事は余りありませんでした。また、今の時代は、女性の管理職をもっと増やしましょうという流れもあり、この波に乗るとやっといきやすい面もあるかなと感じています。

今城 待遇面などで差をつけられた事がないので、差があるかどうかを考える事自体がありません。この業種は男女に関係無く仕事ができるところが好きなんです。ただ、お客さんの所へ、例えば二十代の男性と一緒にいった時、お客さんはその男性の方を見て話をすることが多い。そんな時、ちょっと男女差を感じますね。

編集委員: なるほど。周囲に「中心でやっているのは男性」と見られてしまう。

今城 そうですね。でも私自身もずっと男性職場で働いていて、男性の目で見ても

まう部分があるかもしれません。例えば重要な仕事を誰に任せる?となった時に、これまでに仕事を投げ出されたり逃げられたりした人に、残念ながら女性が多かったこともあって、投げ出さない人を選んだら結局男性になることがあります。

編集委員: もしかしらそういう経験をしている方は、女性は…と思われることもあるのかもしれないですね。本当は、女性男性でひとくりにできるものではなくて、個々人の資質なんですよ。

濱野 そう思います。私の職場は圧倒的に男性の現場ですけど、最近では女性の方も増えてきており、時々通信関係などで女性が電柱に登られ、私たちと同じように、力仕事も含め、まったく男性と変わらず仕事をしておられます。「すごいな～」と感心する事はありますが、男性と同じ資格を持っており、特別な目で見える必要も全くありませんし、不思議に思う事はありません。

木山 私の会社は若い女性社員が多いんです。ぬいぐるみなどのグッズの提案をする時、「これが可愛いですよ」と男性が漠然と説明するより、女性が、どこがどのように可愛いかを具体的に説明した方が、説得力があるということでしょうか。会社としては、男性か女性かというより、商品知識のある人を求めていると思うんです。強みをいかして仕事ができるというのは、嬉しいですよ。

今城 女性である事を上手く使っておられる方もいらっしゃいます。別に色気とかじゃないですよ。大胆さっていうのかな。男性

だったら既存のルートを辿って電話をしたりするところを、病院の院長や事務長に直接電話するような大胆さや、「そこまで言っているの?」と思うような既成概念に縛られない提案をしたりして、どんどん仕事をすすめていく人もいます。

編集委員: 女性も男性も、その人らしさを職場で発揮できるといいですね。みなさんはあまり職場では男女差を感じられていないようですね。

木山 男女差とは違うかもしれませんが、女性は出産をすればどうしてもブランクがきますから、社内の女性にも、出産したら働けないと不安に思っている人が多いようです。「ママ営業第一号」の話をすると「子育てしながらでも働けるんだ!」って驚かれます。

編集委員: 育児休業制度などを十分に理解されていないとか、理解はしていても実際には取得する事が難しいという事でしょうか。

木山 営業の場合、夜の7時、8時になる事もあり、私自身、復帰して実際にやっていたり不安に思っていました。子どもがいては残業できない、イコール復帰できないと思ってしまっていて。制度はあっても周囲の方々の負担を考えてしまいます。

川上 仕事で新卒採用の手伝いをする事がありますが、採用時には女性の方が圧倒的に優秀なのに、会社に入ってからそれが逆転してしまうとおっしゃる経営者が多くいます。それはなぜかと思った時、やはり結婚、出産、子育てなどの面がネック

必ず1人の時間を楽しむようにしています。

わたしたちのイキイキ24時間

になっているのではないかと思います。これから頑張っている女性が増えてくると「ああいう風にやっていけば良いんだな」というモデルができて、さらに進みやよくなるかなと。結婚や出産による負担の差は社会の壁というより個人の意識が大き

いと思っています。それでも個人の意識だけではどうにもならない部分があると思いますので、やはり家族や会社のフォローも絶対必要と感じています。

木山 個人の意識を変えることも大事ですよ。子どもがいては残業できない、イコー

ル復帰できない、ではなく、5時に帰るにはどうすればいいか?自分がどう動けばいいの?ということですよ。ママ営業第一号として、そういうところで結果を出したいと思っています。会社に認めてもらいたい!と。それでも、やっぱり仕事と

～自分らしく働くということ～

家庭の両立を考えたら、現状は、周囲の理解やサポートがないと厳しいかなとも思っています。

編集委員:今は女性も男性も外で働きたいという人が増えてきていますが、共働き家庭で家事育児を担っているのは大半が女性です。男女が共にいきいきと働くためには、仕事と家庭(特に育児)の両立をどううまくやっていくかというのが鍵になってきそうです。話はわかりますが、女に生まれて、男に生まれて、よかったと感じる時はありますか。

濱野 男で良かったというのではないですが、どちらでも上手にやっていけると思います。

木山 自分が経験したことで言えば、出産でしようか。

川上 周りを見ても、人生を積極的に楽しもう、切り開いていこうという気持ちは女性の方が持ちやすいのかなと感じます。人生を謳歌する能力が高いところが、女性でよかったと思うところです。また、女性なら、ステップアップのために転職することに抵抗も少ないですが、男性はそういった自由が少ないように見えます。

今城 そういうことをあまり感じたことがありませんでしたが、ファッションの選択肢が多いことを結構楽しんでますね。私も、同じ業界内で何度も転職していますが、そういった積極的なチャレンジも女性だからやりやすかった面もあったかもしれません。

編集委員:「女性は結婚すれば働かなくてもいいから楽でいいよな」という意見についてどう感じますか?

木山 今は専業主婦になっても、会社に就職しても「一生これでやっていけるよ。」と言えない厳しい時代ですし、片働きで養っていける人は限られているのではない

でしょうか。それに、専業主婦も決して楽ではなく、収入のやりくりも含めて大変な仕事ですよ。

濱野 自分は考え方が古いのかもしれませんが、基本的には「自分の力で養おう」という気持ちが強いですね。でも、「結婚すれば辞められるからいいよな」といった発想は全くないです。もし結婚して妻が働きに出たければ、それは構わないですけどね。

川上 もしかしら、自分の将来が見えなくて愚痴を言ったのかもしれないですね。最近の就職活動では、女性も長く働こうという意思を持って会社を選んでいる人が多いと思います。結婚して退職すると、定年まで働くのでは、生涯賃金が5千万~2億も違いますよ。

今城 仕事がどうなるかわからない厳しい時代ですから、共にがんばっていくしかないと思います。家庭に入るというのは楽なことではないと思いますし、私のまわりでも、自分のしたいことがあったり、お金の自由が欲しい人は、何らかの形で働いています。

編集委員:それでは最後に、仕事もプライベートも含めて、今後の抱負等についてお話しただけければと思います。

濱野 5年後、ちょうど一番下の子が高校を卒業するので、そのころに現場を引退して、一人になって楽しめる何かを見つけないかと思っています。

今城 みなさんのスケジュールを拝見して、制約されているからこそ上手く時間を使っているな、と気がつきました。私は、時間に自由がある分、だらだらと仕事を続けてしまったりして…いい意味で仕事にはまってしまうのならまだしも、うまくいかない時なども延々やり続けてしまう。出来な

いときはもうやめて、また新たな気持ちで、翌日やる方が案外すんなり解決したりするんですけどね。休む時はちゃんと休むというメリハリのある生活をすれば、もっと仕事も精度が上がるのではないかなと思うので、そういうところを改めていきたい。仕事に充てる時間と自分の時間とを区切って、今は仕事の方は頑張っていると思うんですけど、私生活の方もちゃんと…というんですか、趣味をしたり、運動をしたり、たまには自分でご飯を作ったりして、そのあたりをもうちょっと人間らしくやっていきたいなと思いました。仕事は、ITコンサルタント活動を増やして、プライベートはもっと旅行に行きたいなと思っています。

川上 私も、時間に制約がない分、逆に生産性が上がらないというか、いつまでも仕事をやってしまいます。ただ、自分の人生の幅でバランスを考えたら、仕事をぐっと減らしている時期もあったので、今は仕事が出来ない時期なのではないのかなと思っています。今後も仕事はもちろん頑張りますが、一番身近な家族を大切に、家族の時間を増やすというか密度の濃いものにして、人生を終われたら良いなと思います。

木山 仕事では、やはり「ママ営業第一号」として結果を出すこと。ママ営業で5時に帰っても仕事が出来るという結果を出さないと会社も認めてくれないと思うので。家庭では、もう少し夫に気をつけてあげられたらとずっと思っていますし、二人の子どもに寂しい思いをさせないように出来る限りのことはやっていきたいですね。仕事と家庭をうまく両立する方法を、これからも模索していきたいです。

編集委員:ありがとうございました。

人生を積極的に切り開いていこうという気持ちがあるのは、女性の方が多い。

子育てが終わった人達が仕事に復帰しやすい環境になれば…

濱野さん

6:00	起床
6:00-7:30	朝食・弁当作り・洗濯
7:30-8:00	出勤
18:00-19:30	夕食の準備・夕食
19:30	事務所にて仕事 又は現場作業
23:30	入浴
1:00	就寝

掃除までしたいのに毎朝大忙し!

この時間に現場に出かけることも

自分の時間はほとんどないです

川上さん

5:00	起床
5:00-6:00	家族の朝食の支度・洗濯
6:00-7:30	新聞・スケジュール確認・メール確認・仕事の準備
7:30-9:00	家事片付け・掃除・着替・メイク
9:00	家を出る
10:00-12:00	企業研修
12:00-14:30	ランチミーティング(クライアントと打ち合わせ)
14:30-16:30	美容院
17:00-19:00	顧問先企業の訪問
19:30-21:00	夕食
21:00-22:00	メールチェック・資料作成
22:00-22:30	フェイスブックやブログのチェック
22:30-23:30	お風呂・片付け
23:30	就寝

家族の時間に合わせて起きます

仕事の空き時間を有効に使います

だらだらと仕事にはまってしまうことも

みなさんがどんな1日を過ごされているのか

教えていただきました。

木山さん

5:00	起床
5:00-6:00	お弁当づくり・朝食の用意・身支度
6:30-7:30	朝食・子どもたちの用意(夫担当)
7:30	家を出る
8:00	息子を保育園へ送る
8:30	娘を幼稚園へ送る
8:50	始業
8:50-17:00	就業
17:30	帰宅(母が子どもたちを見てくれているため実家へ)
18:00	家へ帰宅・夕食の準備
18:30	夕食
19:30	お風呂
20:00	少し遊ぶ・片付け・夫が帰宅
21:00	本を読んで寝かしつけ
22:00	就寝(部屋の片付け、洗濯物などは夫がやってくれています)

朝のバタバタが軽減され助かっています

息子、娘の迎えは母がしてくれます

子どもと自分が寝たあとは夫がやってくれます

今城さん

7:00	起床
7:00-8:00	朝食
8:00-9:00	入浴・洗たく
9:00	就業開始
19:00	就業終了
19:00-20:00	食事
20:00-24:00	読書・テレビ・中国語学習
24:00	就寝

朝・夕は母が準備してくれます

不規則で深夜に及ぶことも…

自分の時間は豊富



座談会 | 総評

●編集委員まとめ

皆さんが「仕事が好きだ」「仕事楽しい」と、本当にイキイキとお話になられたのが印象的でした。仕事と家庭を両立することは、大変さ、難しさばかりが強調されてしまいがちですが、それぞれ自分にあった時間の過ごし方を探して、大変さの中にも小さな楽しみを見つけたりしながら、自分らしい生き方を生きることがイキイキの一番の秘訣であろうと感じました。

十人十色、いろいろな生き方があっていいはず。性別に関わりなく、家庭、地域、職場のあらゆる場面に参画し、それぞれが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するために、まずは自分のできることから…自分らしい生き方を見つけて、イキイキと過ごしたいものです。



岡山市男女共同参画推進週間 6月21日～6月27日

さんかくウイーク2012

最優秀イラスト

わくわく さんかく 夢いっぱい

プレウイーク
6月14日～
6月20日
フォローウイーク
6月28日～
7月4日

テーマに沿って描かれた齊藤康雅さんの作品です。

岡山市男女共同参画推進週間(さんかくウイーク)は、男女共同参画社会の実現に向け、市民のみなさんに男女共同参画社会への理解を深めていただくための様々な取組を行います。今回も、6月21日から27日のさんかくウイークと、その前後一週間(プレウイーク・フォローウイーク)に、さまざまなイベントを行いました。

6/23 (土) 記念イベント / 市民文化ホール
講演：決してあきらめない ～家族も仕事も、そして幸せになることを～
講師：佐々木 常夫さん(株式会社経営研究所特別顧問)



長男は自閉症、妻は病気がちと、家族のために時間を確保しなければならない状況の中で、仕事でも結果を出すため、前向きに頑張ってきたご自身の経験から、ワーク・ライフ・バランスは、効率的に時間を使うなど、仕事の改革があって初めてできることで、そのためには良い習慣を身につけることが大事であると話されました。

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

雇用の分野における男女共同参画社会の形成に関する取組の普及を図るため、当該取組を積極的に行っている事業者を表彰しました。

株式会社田中時計店 ジュエリータナカ

社員全員で行動指針を作成し、社員相互に人権を尊重し合う職場づくりを進めるとともに、仕事と家庭の両立を支援するため、短時間勤務制度の導入など、一人ひとりの状況に配慮し継続的に働くことのできる職場づくりに努めるなど、女性の能力発揮を促進する積極的取組として高く評価されました。



さんかくウイーク2012 ポスターイラスト最優秀賞表彰

「わくわく さんかく 夢いっぱい」のテーマで募集した、さんかくウイーク2012のポスターイラスト最優秀賞に、賞状と副賞を授与しました。



さんかく岡山登録団体や、さんかくウイーク2012実行委員会が企画した事業

6/16 女と男 85歳の自立に向けて ～知って防ごう認知症～	6/17 生きる力 ～夢に向かって～	6/24 老い支度なぜ必要 ～女性の老いを考える～	6/30 変わるお葬式、消えるお墓 ～多様性と葬送儀礼～	7/1 キッズいけ花体験 ～男の子も女の子もみんな～
--	-------------------------------------	--	---	---

オープニングセレモニー・パレード&イベント・PR活動



オープニングを飾るパレードや、数々のイベントをさんかく岡山で開催したほか、さんかくウイークCMを作成してリットビジョンで放映したり、路面電車でコンサートを開催してさんかくウイークをPRしました。

公民館での行事

期間中、市内のすべての公民館で、男女共同参画にまつわる講座を開催しました。



パパと「フレンチトースト」作り

人形劇 行動する白雪姫の物語

私も「まち」を守ります 救命講習

「さんかく岡山」へ行ってみよう!



会議室
(有料・要予約)



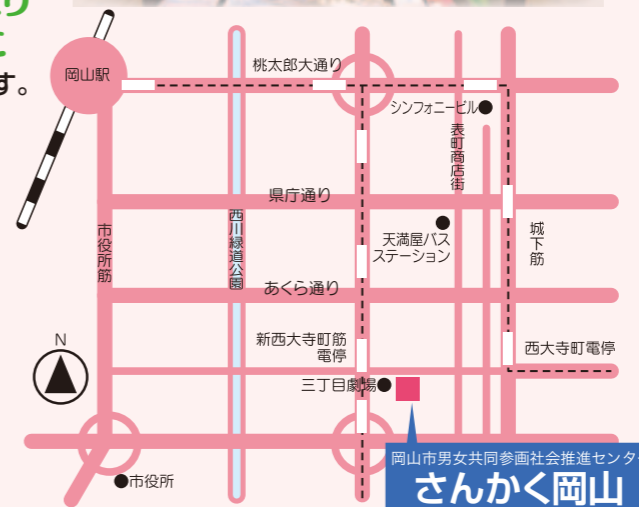
託児室
(有料・要予約)



市民グループでの集まり
企業の社員研修などに
最大100人まで利用できます。

託児ボランティアによる
託児をします。

図書
貸出可能
一般図書もあります。



託児ボランティア
募集中!

託児スタッフとして
活動していただけます。

「さんかく岡山」では、その他にミーティングルーム・展示ギャラリー・交流サロン・情報コーナーなどがあります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

岡山市トップページ [くらしの情報](#) → [学びと楽しみ](#) → [さんかく岡山](#)
http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/danjo_00050.html



男女共同参画相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)

岡山市男女共同参画相談支援センターでは、配偶者暴力相談支援センターの機能を持ち、DV被害者の方への相談に応じ支援をしています。

相談受付時間：月曜、水曜～土曜 午前10時～午後7時30分
日曜、祝日 午前10時～午後4時30分

休館日：火曜(火曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始
詳しくは、ホームページをご覧ください。

相談ホットライン
086-803-3366

岡山市トップページ左サイドメニュー [DV・セクハラ・人間関係の悩み](#)
http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/danjo_00064.html



岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」

〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号(アークスクエア表町2階)
TEL 086-803-3355 FAX 086-803-3344 <E-mail>sankaku@city.okayama.jp

岡山市男女共同参画相談支援センター

TEL 086-803-3399

第3次さんかくプラン

～性別にかかわらず、市民一人ひとりの個性が輝く
「住みよいまち 住みたいまち」の実現をめざして～

都市ビジョンに掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」という都市像の実現をめざす中、これまでの取組を踏まえ、今後の社会の変化等に対応できるよう、現行のプランを見直し、第3次さんかくプラン(平成24年度～平成28年度)を策定しました。

本プランに基づき、市民・事業者の皆様とともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を進め、「岡山に暮らしてよかった」と思えるまち、安全に安心して暮らせる岡山市を築いていきたいと考えていますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

第3次さんかくプランの主な内容

重点目標 1 男女の個人としての尊厳の尊重

- 男女平等を推進する教育・学習
- 女性の人権を尊重した表現の推進のための基盤づくり

重点目標 2 性別に基づいて起こる人権侵害の禁止

- 女性に対する人権侵害の防止及び相談体制の充実
- 配偶者・パートナー等からの暴力への対策の推進
- セクハラ防止対策の推進

重点目標 3 固定的な性別役割分担の解消

- 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し
- 労働の場における男女の均等な機会と待遇の確保
- 女性の参画の少ない分野における対策の推進
- 男女共同参画の視点に立った広報・情報提供の促進

重点目標 4 仕事と生活の調和の推進

- 仕事と子育てを両立するための支援策の充実
- 仕事と介護を両立するための支援策の充実
- 男性にとっての男女共同参画の推進
- 地域活動への参画の促進

重点目標 5 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援

- 性と生殖の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する理解の促進
- 生涯を通じた健康づくりに対する支援
- 健康をおびやかす問題についての対策の推進

重点目標 6 政策・方針の立案及び決定過程への男女の共同参画の促進

- 行政分野における女性の参画の促進
- 企業、教育機関、その他の各種機関・団体等における女性の能力発揮のための取組の促進
- 農林水産業における政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
- 女性の人材養成と情報の提供

重点目標 7 国際的な取組についての理解及び協調、連携

- 男女平等に関する世界の取組についての理解と国際協力・交流の促進
- 岡山市に暮らす外国人への支援及び地域社会への参画促進

重点目標 8 市と市民等とのパートナーシップによる協働

- 市民参画による施策の一層の推進
- 男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」の機能の充実

★詳しくは岡山市男女共同参画課のホームページでご覧いただけます。



女性の生き方や働き方についてという大変興味のあるテーマでした。座談会でも良い経験をさせていただき楽しく編集委員活動に取り組みました。沢山の方々にこの紙面が読まれることを期待しています。

(納所)



今回、初めて情報誌の編集の作業に挑戦。「紙面づくり」を通じて、個性豊かな編集委員の方々と率直な意見交換や、座談会での仕事大好きな、素敵な出席者との興味ある会話は新鮮で驚きの連続。本誌がみなさんのイキイキと元氣な毎日の応援の一助になればと願っています。

(寺尾)



今回初めて編集の仕事に携わらせていただいたことで、普段何気なく読ませていただいている情報誌を作るの大変さを知りました。これからは、大切に読んでいきたいと思っています。

(池田)



座談会に集まった人たちは、仕事に情熱がある人たちで、素敵でした。社会進出をすることが、誇りにならなければいけないのだと認識しました。働かなくてもいいことを羨む人は、仕事に誇りを持っていないのでしょうか。

(白神)